

日本学術会議公開シンポジウム

心の先端研究の展望

日時：2017年6月24日(土) 14:00～16:00

場所：京都大学高等研究院西館会議室

京都市左京区吉田牛ノ宮町(京都市バス「京大正門前」バス停 下車すぐ)

主催：日本学術会議(心理学・教育学委員会「心の先端研究と心理学専門教育分科会」)

共催：京都大学高等研究院

後援：京都大学心の先端研究ユニット

開催趣旨

近年こころの研究はますます学際化し、かつてこころの研究の中心にあった心理学の自己解体と再定義が進んでいます。そういった認識のもと、こころの研究の最近の動向、日本の国際競争力や心理学の位置づけ、今後のあるべき姿を考え、次の10年に何をすべきかを考えます。

問い合わせ先：hq@kokoro-japan.org

プログラム

- 14:00～14:20 「趣旨説明」「技術革新と連動したこころの研究の現状と展望について」
西田真也(日本学術会議連携会員、NTTコミュニケーション科学基礎研究所上席特別研究員)
- 14:20～14:40 「乳幼児のこころの研究の現状と展望について」
明和政子(日本学術会議連携会員、京都大学大学院教育学研究科教授)
- 14:40～15:00 「高齢者のこころの研究の現状と展望について」
積山薫(日本学術会議連携会員、京都大学大学院総合生存学館教授)
- 15:00～15:20 「霊長類のこころの研究の現状と展望について」
平田聡(日本学術会議連携会員、京都大学野生動物研究センター教授)
- 15:20～15:40 「社会におけるこころの研究の現状と展望について」
亀田達也(日本学術会議第一部会員、東京大学大学院人文社会系研究科教授)
- 15:40～16:00 総合討論